



きずな



～一致団結～

生徒作文紹介(3組編)～校外学習～

紙面の関係で全員の作文を紹介することができません。また、ホームページには、氏名の部分は削除して掲載します。ご了承ください。

「飯盒炊さんを終えて」

私は飯盒炊さんを通じて二つ感じたことがあります。

一つ目は、食品ロスについてです。私はあまり食べ物を残すということをしませんが、料理をつくった人ががんばったものを残す行為がどれほど辛いかを実感しました。うまいかなかったら少しはわかるけど、上手にできたものを残されるのはやはり悲しいことです。分かりやすい例は、手紙にあった残飯です。残飯の量の多さにとても驚きました。作った人がこの状態を見たらどう思うか気になりました。食品ロスの問題でもあるし、つくった方の気持ちの二つの問題が出てきます。もっと考えれば他の問題も出てくるかもしれません。今まで残している人は、飯盒炊さんをきっかけに考えが変わってくればいいなと思いました。

二つ目は、つくってくれる人への感謝の気持ちです。たき火を使って料理したので、普段とは異なりましたが包丁やピーラーを使う両親には感謝しています。私は、今回ピーラーでケガをして、ピーラーに苦手意識があります。しかし、両親は無理をせず、料理をしていることに驚きました。両親だけでなく給食をいつもつくってくれる方にも感謝の気持ちがあります。つくる量が多く、時間もたくさんかかると思います。とても私にはできません。尊敬すべき存在だと思いました。

この二つのことを考えるとやはり、食べ物を残すことはいけないことだと思いました。無理に食べなくてもいいから食べられる人にあげたり、工夫したらいいと思いました。つくった人への感謝と気持ちを考えることが大切ということをお伝えたいです。

「校外学習を通して」

私は校外学習を通して、自ら火をおこす大変さはもちろん、食品ロスなどについてもたくさん学ぶことができた。特に私は食品ロスについていろいろなことを感じた。

具材を切っている時間、違う班の豚肉がカラスに取られるという出来事があった。結果的には

他の班から少しずつ分けてもらっていたため、大丈夫そうだった。しかし、そのことについて、その日はカラスが悪いと思っていた。今考えてみると、仕方ないことだったと思った。カラスだって一生懸命生きている。この豚肉は、カラスとヒナのエサになる。しかし、私たちはそんな大切な食料を平気で残し、平気で捨てていた。この出来事から、反省しなければいけないなど思った。このことは食品ロスにもつながる。世の中には十分な栄養が手に入らず命を落としてしまう子どもや、お腹いっぱい食べられない子どもがいる。そんな中私たちは、「お腹いっぱい」「味が好きじゃない」「苦手だから食べない」という下らない理由で、たくさんの食べ物を残してしまっただけでなく、この行動はいけないものだと気が付くことができた。これからは直さなくてはならない。

これからは、「いただきます」「ごちそうさまでした」などの生き物への感謝だけでなく、つくってくださった方への感謝の気持ちを忘れないように生きていこうと思った。

来週の時間割

	19日(月)			20日(火)		
	1組	2組	3組	1組	2組	3組
①	学年集会			音楽 今井	理科 曾根田	社会 伊藤
②	体育 森本	家庭科 宮坂	英語 少人数	数学 少人数	数学 少人数	音楽 今井
③	社会 伊藤	体育 森本	家庭科 宮坂	国語 三浦	音楽 今井	体育 森本
④	家庭科 宮坂	国語 三浦	数学 少人数	英語 少人数	英語 少人数	数学 少人数
⑤	数学 少人数	数学 少人数	理科 曾根田	全校集会		
⑥	理科 曾根田	社会 伊藤	国語 三浦			
連絡事項	①学年集会と事後学習発表表【クラス内】			前期期末考査試験範囲表配布		

連絡です。

20日の下校時には、全ての物をもって帰ります。20日の授業の持ち物を確認して、カバンに入らないようだったら袋等を用意してください。上履きと体育館履きも持って帰ります。

